

## レジリアンス・プロジェクト平成 21 年度研究計画 (Research Plan for FY2009)

1. 氏名/所属: 姜 明江 / 京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科

2. 具体的な研究課題 (今年度)

- 1) ザンビアにおける緩和医療の現状と課題の解明
- 2)
- 3)

3. 具体的な研究内容 (今年度)

ザンビアにおける都市と農村の住民、病院やホスピス関係者から得られる事例の分析を中心に、人びとがおかれている緩和医療に関わる現状と課題を医学的側面と社会文化的側面の両方から考察する。医学的アプローチとして、ホスピスでの調査をおこない、プロトコールの分析、薬剤の適正使用に関する分析、緩和医療が適応される疾患分析をおこなう。農村でのフィールド調査により地域住民にとって望ましい生活の質とはどのようなものか、宗教、文化、生計手段をふまえ考察する。また、アフリカ緩和医療学会が設立され、アフリカにおける緩和医療導入の先進国ともいえるウガンダにおいて視察をおこないたい。

4. 今年度末までの達成予定 (上記の課題毎に、何をどの程度明らかにできるか)

- 1) ホスピスの現状と課題を解明。調査地となる農村の選定。人口など基礎的なデータと、健康希求行動に関するデータ収集。
- 2)
- 3)

5. 今年度現地調査予定

- 1) 時期 8 月末～11 月末
- 2) 目的 上記研究の調査
- 3) 内容/準備状況 上記参照。農村調査は 2 か所おこなうが 1 か所は選定済。(前回調査で取り上げた場所)

6. 次年度以降の計画予定概要

(平成 22 年度)

- 1) 上記調査の継続
- 2)

(平成 23 年度)

- 1)
- 2)

7. 成果発表計画

発表予定学術誌 (学術誌名)

発表予定学会 (学会名・時期) 21 年日本アフリカ学会 (5 月発表済)

ワークショップ等

8. その他 (何かあれば)